

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【公表番号】特表2009-514594(P2009-514594A)
【公表日】平成21年4月9日(2009.4.9)
【年通号数】公開・登録公報2009-014
【出願番号】特願2008-538878(P2008-538878)
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月28日(2009.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

身体の器官を治療するためのシステムであって、該システムは、
遠位部分を有する細長い部材と、

近い端と遠い端とそれらの間に延びる構造とを備えている補てつ物であって、該構造は
該近い端の該遠い端に対する回転の際に直径を減少させることが可能なメッシュ、格子、
または織られた構造を備え、該補てつ物は近い嵌合部分および遠い嵌合部分をさらに備え
ており、該近い端および該遠い端は、互いに対して第 1 の方向に回転させられて該補てつ
物の直径を減少させ、該細長い部材の該遠位部分に該補てつ物を取り付ける、補てつ物と
、

該補てつ物の該近い嵌合部分を受ける近いシート、および該補てつ物の該遠い嵌合部分
を受け入れる遠いシートであって、該嵌合部分が該近いシートおよび該遠いシートと共に
入れ子になっているとき、該補てつ物の該近い端および該遠い端は、該補てつ物を拡張さ
せるために、第 2 の方向に回転することを抑止する、近いシートおよび遠いシートと
を備えている、システム。

【請求項 2】

前記近いシートおよび前記近い嵌合部分は、前記補てつ物の前記近い端を前記細長い部
材に保持する近い保持手段を備えており、前記遠いシートおよび前記遠い嵌合部分は、該
補てつ物の前記遠い端を該細長い部材に保持する遠い保持手段を備えている、請求項 1 に
記載のシステム。

【請求項 3】

前記近いシートおよび前記遠いシートはそれぞれ、前記近い嵌合部分および前記遠い嵌
合部分をそれぞれ受けるように形状が与えられたそれぞれの幾何学的形状を含む、請求項
1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記補てつ物の前記近い嵌合部分は複数の近い突起を備え、該補てつ物の前記遠い嵌合
部分は複数の遠い突起を備え、各突起は、該補てつ物の前記近い端および遠い端からそれ
ぞれ延びており、前記近いシートの幾何学的形状は、該近い突起のうちの少なくとも 1 つ
を受け入れるように形状が与えられた複数の開口部を備え、前記遠いシートの幾何学的形
状は、該遠い突起のうちの少なくとも 1 つを受け入れるように形状が与えられた複数の開

口部を備えている、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記複数の近いシート開口部の各々は、細長い開口部を備えている、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記複数の近いシート開口部は、複数のポケットを備えている、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記複数の遠いシート開口部のそれぞれは、細長い開口部を備えている、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記複数の遠いシート開口部は、複数のポケットを備えている、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記近いシートの幾何学的形状は、「L」形状、「T」形状、「V」形状、「C」形状、円形、長方形、正方形、多角形、三角形、および細長い形から選択される、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記遠いシートの幾何学的形状は、「L」形状、「T」形状、「V」形状、「C」形状、円形、長方形、正方形、多角形、三角形、および細長い形から選択される、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記近いシートおよび前記遠いシートは、前記細長い部材に取り付けられる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記細長い部材は、内側部材および遠位端を有する外側部材をさらに備えている、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記内側部材は、前記外側部材の少なくとも一部分を通って延び、かつ該外側部材の前記遠位端を通って外に出て、該内側部材は、該外側部材の該遠位端に対して可動である、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記外側部材は、前記近いシートを含み、前記内側部材は、前記遠いシートを含む、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記内側部材および前記外側部材は、互いに対して軸方向に可動である、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記内側部材および前記外側部材は、互いに対して回転可能である、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記補てつ物は、前記内側部材の遠位部分の周囲で、かつ前記外側部材の前記遠位端に隣接して取り付けられる、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記補てつ物はステントを備えている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記ステントは、自己拡張ステントである、請求項 1 8 に記載のシステム。

【請求項 20】

少なくとも前記遠いシートの上に位置する第 2 のスリーブをさらに備えている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記第 2 のスリーブは可撓性である、請求項 2 0 に記載のシステム。

【請求項 2 2】

前記近いシートおよび前記遠いシートは前記細長い部材に連結されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 2 3】

前記補てつ物は、複数の閉じたセル構造を備えている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 2 4】

それぞれの閉じたセルは、複数のストラットを備え、該複数のストラットは、第 1 の対の軸的に隣接し相互接続されたストラットと、第 2 の対の軸的に隣接し相互接続されたストラットとを含み、該第 1 の対のうちの 1 つのストラットは、該第 2 の対のうちの 1 つのストラットと、ストラットのジャンクションを介して直接的に接続される、請求項 2 3 に記載のシステム。

【請求項 2 5】

それぞれの閉じたセルは、4 つの相互接続されたストラットから構成される、請求項 2 3 に記載のシステム。

【請求項 2 6】

前記補てつ物は、該補てつ物の前記近い端および前記遠い端が、該補てつ物を拡張させるために前記第 2 の方向に回転されることが可能である、請求項 1 に記載のシステム。